

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第355回

紀里谷和明

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年4月27日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

みんな言うんだよ「俺だって
バッターボックスに立てたらヒット
打てる」って。しかし実際は
そんな簡単な事ではない。
そして立たないとわからない。

紀里谷 和明は、日本の映画監督。KIRIYA PICTURES 所属。

Column

今回の言葉を知った時に、この言葉が登場するシーンや使い方を3つ想像しました。1つ目は“自分が大切にしていることをバカにされた時”です。この言葉を発した場合はきっと相手にとっては言い訳にしか伝わらないと思います。悔しい気持ちをグッと堪えて自分のエネルギーに変えるために自分に言い聞かせるためにこの言葉を使いたいと感じました。2つ目は“自分が大切にしていることをバカにされた人を擁護する時”です。その人が誇りと自信を持って取り組んでいたとしても、批判やバカにされた時にはその気持ちが揺らいでしまうこともあります。そんな時に『あなたはあなたらしくあればいい』と伝える時にこの言葉を使いたいと感じました。3つ目は“誰かがやっていることを自分もやってみたいと思った時”です。『簡単そうだからやってみようと思って取り組んでみたら意外と難しかった』ということはよくあります。物事に対してやってみたいと興味を持った時、今回の言葉を思い浮かべ、そんな苦労も含めて楽しむことや既に取り組んでいる人へのリスペクト、そして自分の成長のためという基準で取り組むことを選ぶという意識を持つことなど、いわゆる『心構え』のような考え方でこの言葉を伝えたいと感じました。

誰の中にも“こだわり”があると思います。そして、ついそのスケールの大きさに優劣を感じてしまいがちです。あくまでも1つの事例でしかないのに成功例があると『これが正解』と、それ以外の考えを否定されたりしたくなることがあります。しかし、私は途中で述べたようにみなさんに“あなたはあなたらしくあればいい”と思っています。今の自分がまだまだ未熟であることを悲観するのではなく“素晴らしい成長に繋げるために今があるんだ！”という誇りを持つことが重要です。私たちの未来はまだまだ続いていきます。成功だけでなく、成長することに一番のこだわりを持って突き進む正智深谷高校であってほしいと願っています！